# 〇目指せ多面的な特色ある農村

## 1. 集落協定の概要

市町村·協定名	くるめしたぬしまるまち いしがき 福岡県久留米市田主丸町 石垣			
協定面積	田 (94%)	畑 (6%)	草地	採草放牧地
36ha	水稲	柿・ぶどう		
交 付 金 額	個人配分			50%
299万円	共同取組活動	役員手当		7%
	(50%) 農業生産活動体制等整備		20%	
		水路農道農用地維持管理	費	23%
協定参加者	農業者 84人			開始:平成13年度

# 2. 取組に至る経緯

石垣集落は、耳納連山北麓の観光果樹園の多い地域に位置しており、久留米市田主丸 町の特産物である巨峰・柿のシーズンに、多くの観光客がフルーツ狩りに訪れる地域で ある。

農業者の減少や高齢化が進む中、農業生産活動や農地の多面的機能を維持していくため、平成13年度から中山間地域等直接支払制度に取り組んでおり、集落の一層の活性化を図るため、集落ぐるみで多面的な特色ある農村づくりを目指している。

# 3. 取組の内容

活動内容としては、高付加価値型農業に取り組むためカバークロップとしてレンゲの作付けを行い、米の減農薬・減化学肥料栽培に取り組み、にじ農業協同組合へ出荷し「耳納連山れんげ米」として販売している。

また、集落内の連携を図るため、水路・農道管理作業の後に集落の伝統行事である「ちびっこ相撲」を開催したり、クリスマスのイルミネーションを行ったりしている。



【レンゲ畑を背景に水路の除草】



【「耳納連山レンゲ米」と生産者】

#### 「集落の将来像〕

- 高付加価値農業を推進していく。
- 農業者と非農業者で連携して農道等の除草や、水路の整備を行っていく。
- 集落ぐるみで多面的な特色ある農村づくりを行う。



#### [将来像を実現するための活動目標]

○ 農業者と非農業者が相互に様々な活動協力を行い、両者が一体化した集落を目指すことにより、多面 的な特色ある農村づくりを目指す。

# 〔活動内容〕

- 農業生産活動等

農地の耕作・管理 (田33ha、畑3ha)

個別対応

水路・農道の管理

・水路 年2回 清掃、草刈り

・農道 年2回簡易補修

共同取組活動

農地法面の定期的な点検(年2回及び随時)

共同取組活動

多面的機能增進活動

周辺林地の下草刈り

個別対応

景観作物作付け (景観作物としてレンゲ を約0.6ha作付けた。)

共同取組活動

農業生産活動の体制整備

集落ぐるみのサポート体制

・役員

(5名:地域リーダー的農業者)

・役員による農用地見回り (年2回:8月、3月)

・耕作放棄が発生しそうなほ場 に対する取り組み

1.役員から農地所有者に注意 2.改善しなければ、役員による 耕起、草刈り

3.地力増進作物や景観作物の作付け(子供会、婦人会も協力)

共同取組活動

### 4. 今後の課題等

農家と非農家が連携し、集落ぐるみで活動することにより、集落全体の意識が向上し、 集落の活性化に繋がったが、その一方で農家の担い手不足や高齢化は避けられない状況 にある。このため、高付加価値農業の推進に取り組み、耕作放棄が発生しそうな圃場に 対する集落ぐるみでのサポート体制を確立し、農地集積や認定農業者の育成等を図りた いと考えている。

#### [第2期対策の主な成果]

- 担い手育成に係る取り組みとして認定農業者の育成を行い、新規に1名認定農業者として認定された。 ○ 暑知作物の作付け(7.2ha)を行い、その管理や維持に関して役員を含めた農業者を由いて、集落ぐ
- 景観作物の作付け(7.2ha)を行い、その管理や維持に関して役員を含めた農業者を中心に、集落ぐるみ(婦人会や子供会)で行い、地域の活性化が図られた。
- 年2回の水路・農道の清掃及び草刈り (1.4km) や、水路の目地詰め、農道の補修を行ったことにより離農者の防止が図られた。